

葬祭業、詳しく紹介

業者 求める人材像も提示

就職講座
大正大学の
支援

東京都豊島区の大正大
はこのほど、在学生向け
の就職支援の一環として
開講している業界研究講
座の葬祭業編を開いた。

輝・専務理事が、葬祭業
界の現状や魅力、求める
人材像などを説明し「葬
祭業は人生最期の舞台に
おける黒子であり、残さ
れた方々が悔いのないお
別れができるよう支える

仕事」と述べた。
業界研究講座は、学生
向け就職支援の一環とし
て2年前から開講してい
るもので、これまでも金
融や商社、物流、食品な
どの業界関係者を講師に

迎えてきた。
松本専務理事は、全国
に5、6千社あるとされ
る葬祭業について「日
本の人口動態から見ても
葬儀の件数が今後増加す
ることは間違いなく、一
定以上のニーズはある」
と分析。また葬祭業の魅
力として、公共性が高
く、なくてはならない仕
事であることや、人間の
命や人生、心について考
えることを通じて人間的
な成長ができることなど
を挙げた。

悲しみの中にある遺族
と向き合うことが必要と
なるため、人への思いや
りを持ち、コミュニケーション
の取組むことがうま
い人が向いているとして
「やりがいのある仕事。
共に甲を担う仲間とし
て、業界を変えてやろ
う、くらの意気込みで
飛び込んでほしい」と学
生に呼び掛けた。

仏教学部長の林田康順
教授は、仏事に関わる僧
侶としての視点から葬祭
業者について「おどくな
りになられた方の最期を
厳粛に送るといふことだ
けでなく、葬儀に関わる
全ての人々と直接関わ

り、大きな感動と心から
の感謝を与えてくれる仕
事」と解説した。

講座を受講した仏教学
部3年の八木蓮美氏は
「寺で生まれ育って葬儀
に出仕したこともある
が、私自身は葬祭業の人
と接する機会はあまりな
かった。話を聞いて葬祭
業も様々な部署があるこ
とが分かり、インターン
なども含め、もう少し詳
しく知りたいと思った」
と感想を語った。

(佐藤慎太郎)